

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)

【公表番号】特表 2012-519280 (P2012-519280A)  
 【公表日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-033  
 【出願番号】特願 2011-552123 (P2011-552123)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 35/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 35/00 F

G 0 1 N 35/00 A

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成 27 年 3 月 25 日 (2015.3.25)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 4 9  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【 0 0 4 9 】

図 8 は、第 6 4 7 診断臨床分析装置の管理図を含み、列 7 0 8 の作動合成 1 のそれぞれの値がドット 8 0 2 のようにプロットされている。線 8 0 1 は、トリミングされたベースライン合成 1 の管理限界値 ( 7 4 . 3 3 2 ) を表す。毎日の作動合成 1 の値は管理限界値の近くから始まり、3 日間の間これを超え、その後、管理限界値よりも下に低下している点に留意されたい。これは、診断臨床分析装置による差し迫った分析故障の最初の兆候である。更に数日後、作動合成 1 の値は 3 日間の内 2 日間、再び管理限界値を超えている。操作上の問題の外面的な兆候はまだ認められなかったが、サービステクニシャンが派遣され、慎重な分析の後、電位計が徐々に故障しつつあることが分かった。電位計は 9 月 2 8 日に交換した。この後、この試験データの期間では、作動合成 1 の値は管理限界値を下回った。